

図書館だより

平成30年7月号 NO. 345
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16
TEL 0293-42-1451

・・・ 読書感想文は好き？ ・・・

もうすぐ夏休みですね。

図書館では、先月から課題図書の新着が始まっています。

「夏休みは好きだけど読書感想文は苦手」という人、いませんか？

でも、読書感想文はそんなに難しいものではありません。

まず、読む本を自分で選ぶことが大事です。「おもしろそうだな」「この本読んでみたい」と自分が思う本を選ぶことです。これができれば、半分はできたも同然です。

そして本を読むとき、おもしろいと思ったり感動したところに、ふせんなどで印をつけて、なぜ感動したのか書き込んでおくと、後で思い出しやすくなります。

感想文を書くときは、たとえば友達に話をするのと同じです。あらすじを教えてあげて、どんな所がおもしろかったのか、どんな所に感動したのかを伝えますよね。そのとおりに書いて、最後にまとめとして、この本を読んだ経験を、これからどのように役に立てていきたいか、などを書けばできあがりです。

まずは図書館においでください。読書感想文が書きたくなる(?)、友だちにもすすめたくなる、そんな本にきっと出会えますよ。



by 雲

《 図書館カレンダー 》 2018年 7月

★ 7月18日(水)～8月31日(金)は、
休まず開館します。★

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ 印は、休館です。

★ 開館時間 ★

★ 午前9時30分～午後6時 ★

◇ 野菜づくり講座(要申込み) ◇

7月5日(木) 午前10時～11時30分

◇ バードウォッチング ◇

7月8日(日) 午前10時～正午

◇ こども映画会 ◇

7月28日(土) 午前11時～正午

◇ 楽しいおさかな講座(要申込み) ◇

7月29日(日) 午前10時30分～正午



YABOOK ご紹介

「ヒトラーと暮らした少年」

児童書933ポ ジョン・ボイン / 著

原田 勝 / 訳 あすなろ書房



主人公の少年ピエロは、ドイツ人の父とフランス人の母との間に生まれ、パリで暮らしていた。7歳の時、第一次世界大戦後の情勢の下、相次いで両親を亡くす。孤児となったピエロは、仲よしだったユダヤ人の少年アンシェルとも別れ、叔母のベアトリクスに引き取られることに…。住み込みの家政婦をしているベアトリクスの仕事先はベルクホーフ。ドイツの独裁的指導者だったアドルフ・ヒトラーの山荘だった。純真無垢な7歳の少年は、ヒトラーに出会い、その強いリーダーシップに惹かれ、信じ、ただ彼に認めてもらうことだけを夢見て、変わり始める…。

☆歴史的事実に基づいて書かれている作品のため、フィクションでありながら、とてもリアルに感じます。戦争が生み出す絶対的権力の脅威、自由なき選択に人格を狂わされた少年。戦争を知らない世代でも「人として、いかに生きるべきか」強く考えさせられる一冊です。同じ著者で映画にもなった「縞模様のパジャマの少年」もぜひ、どうぞ！

by リリー

図書館員のひと一言



みなさん、茨城県天心記念五浦美術館で「スズキコースジ 大千世界宇宙大爆裂展」が開催されているのはご存知ですか？ 2018年6月23日(土)～8月26日(日)までです。私もまだ行っていませんが、開催期間中にぜひ行こうと思っています。

それに合わせて、図書館でもスズキ コージさんの本を図書館入り口正面に展示しています。独特な色使い、描写が一見派手にも、毒々しくも見えるなんともいえない感じが素敵です。動物などは怖い感じに見えてしまいましたが、なぜかページを何度も戻って見たくなるそんな絵です。

今回、原画の展示にもある「ドームがたり」の絵本は図書館にもあります。アーサー・ピナード作//スズキコースジ画の作品です。広島原爆ドームの目線で、気持ちになって書かれた絵本です。ぜひみなさんも一度読んでみてください。

by チッピー



◇ 世界中に愛される日本のおもてなし ◇

一般書 385ア 安達 和子 // 著 みらいパブリッシング

オリンピック招致のプレゼンでも有名になった「お・も・て・な・し」「もてなす」の丁寧語と「表裏無し」が組み合わさった言葉だそうです。この本では、折り紙・風呂敷・おしぼりのサービスなどの日本人ならではのおもてなしやビジネスに繋がるおもてなしについて書かれています。また、著者の安達さんは水戸大使でもあり、茨城の魅力にも触れていますよ。

by ドラ



◇ 放課後ひとり同盟 ◇

一般書 913.6コジ 小嶋 陽太郎 // 著 集英社



計五編の連作短編集。各話の主人公たちはみな、ままならない思いを抱えて日々暮らしている。空から降ってくる(らしい)不幸をひたすら蹴り続ける女子高生や、ひょうきんな友達が時折見せる、暗い心の檻(彼はそれをぐるぐると呼ぶ)に気付くも、どうしたらよいかわからない男の子など。

周りに理解されないつらさや孤立感は、いつまでも心の中に巣喰っていて、魔法を唱えるみたいに鮮やかに解決してはくれない。それでも、たったひとりでも、味方になってくれる人がいたら、きっと明るいよい方向へ進むにちがいない、と希望をくれる本です。

by ミカゲ

◇ たなばたのねがいごと ◇

児童書 Eタナ 村中李衣 // 作 世界文化社

七夕の日、ほしのこえんの子どもたちは短冊に願い事を書きます。先生のお話を聞いたあおいは「こわれたりなくなったりしないもの? じかんがたってもだいじなもの? それってなんだろう?」と一生懸命に願い事を考えました。そして、あおいが短冊に書いた願い事とは…。いつもお迎えに来てくれるおばあちゃんと孫、そして家族のつながりを描いた、心が温くなる絵本です。

by オレンジ



◇ つくえはつくえ ◇

児童書 Eツク 五味 太郎 // 作 偕成社



「なんだか、つくえ せまいきがする」ぼくは、言った。「広いつくえをつくってやろう!」お父さんが、大きなつくえをつくってくれた。

そしたら、友だち たくさん 遊びにきた。なにしろ、ここはとっても広いから、なんでもできちゃう。トランプ、なわとび、サッカー、キャッチボール、カラオケ。あらら!? つくえの上はもう、すきまもなくなって、ぼくはああ…。

by みーやん

◇ ミルフィのたからさがし ◇

児童書 Eミル おおで ゆかこ // 作 あかね書房



うさぎのミルフィのいえに、はりねずみのチキータともぐらのモグが、あそびにきました。みんなで、ものおきであそんでいると、ふるい地図をみつけました。宝物の場所がかかれた地図です。「宝さがしへ、いこう！」ミルフィたちは、地図をもって旅に出ることにしました。お菓子の国やふしぎな森、ページをめくりながら進んでいく迷路の絵本です。★「宝さがし」を楽しんでみてね。 by みーやん

◇ 川のおこりの図書館 ◇

児童書 913イ 池田 みゆる // 作 さ・え・ら書房

竜司は図書館がすきじゃない。いやな思い出があるからだ。卒業前の自由研究で、竜司は悠人と美紀の三人でグループを作った。クラスの中でちょっとはずれている三人は、美紀が持ってきた土器のかけらをきっかけに、自分たちの町の遺跡を調べることになった。そして、竜司は苦手な図書館へ行くことになったのだが…。★もう一つの物語『坂の上の図書館』も読んでほしいです。 by ビクトリア



今年も「スタンプラリー」開催します！

★ 7月14日(土)～9月17日(月) ★

期間中に、スタンプを6つ集めた方にプレゼントを差し上げます。

スタンプカードは、カウンターで配布しています。ぜひ、ご参加ください。



「おはなし会」のお知らせ

★ 図書館おはなし会 ★

7月4日(水)・18日(水)
午前10時～10時30分

★ エプロンヒロ子さんのエプロンシアター ★

7月14日(土)
午前10時～10時30分

★ メリアンさんのおはなし会 ★

7月11日(水)・28日(土)
午前10時～10時30分

★ ぽっぽのおはなし会 ★

7月25日(水)
午前10時～11時



★ すべて 参加自由・無料です。
場所は 1階おはなし室です。